その参

ワークショップ ニュース

三丁公園

「暑さ寒さも彼岸まで」・・・朝晩はかなり涼しくなったとはいえ、最近の暑さのぶり返しや台風に大雨、不安定な天候が続いています。みなさんも風邪などひかぬよう、体調管理には十分気をつけてもらいたいものです。

前回のワークショップでは「三丁公園の計画案を考えよう！」と題し、ゾーニングと呼ばれる機能配置案を基に、具体的になにをどこに配置して、どういう使い方をするのか？をテーマに計画づくりを行いました。今回もその結果についてニュース形式にまとめてみましたのでご覧いただけると幸いです。

作成・発行

東浦町
建設部　公園緑地課

【第4回　ワークショップのまとめ！】　「三丁公園の計画案を考えよう！」

平成23年9月8日(木)　午後7:00～9:30
南部ふれあいセンター　会議室にて　参加者15名でした！

平成２３年９月発行

A班による計画案

B班による計画案

ひとことアンケート

飛び地の利用は難しい／飛び地を無理に考えず、フリーゾーンという考え方はよい。具体的にカタチにしていく段階でプレーパークをもっと具体的に検討しては？／じゃぶじゃぶ池ではなく、水と土を使った遊びができる場所がほしい。穴掘りもできたらいい／植樹、ベンチ、照明、あずまや等の配置まで検討できなかった／今回のレイアウトは大変難しかった。急にはなかなか考えにくい／少数の利用より大勢の人が利用できる物をという考えに戻った。限りあるスペースを有効活用できる方向で考えていきたい／皆さんの意向がわからず前回の両班のまとめに対しての意見交換をもう少し欲しい。／防災公園としていろんなアイデアを出してもらい導入する方向で検討して欲しい／じゃぶじゃぶ池の周りは、小さな子～小学生ぐらいの子が楽しめるような遊具などを設置／トイレか管理棟には、水遊びで濡れたとき着替えられるようなスペースを／高低差のわかる模型はうれしかった。次回が大事/模型もあり、具体的にイメージしながら意見が多く出て大変有意義／2班に分かれることで方向性が偏らなくていい。もう１グループくらいあってもいいかも／出来上がりが楽しみ／少し時間がないように思いました。時間をかけて考えたいと思います。などなど

今回のワークショップのまとめ

◆今回のワークショップでは、予定の終了時間を延長して計画案づくりを行っていただきました。一つの機能を具体的に考えるのに結構時間がかかることや、それを実際にレイアウトしながら絵にしてみることもなかなか難しい。各エリアとそれらをつなぐ園路との関係、飛び地の使い方など、いろんな角度から考えていく工程に皆さん少し戸惑いながらも、何とかカタチにすることができました。

◆エントランスゾーン、レクリエーション・広場ゾーン、いやしの展望広場ゾーンは、両班とも概ね共通しているものの、遊びのゾーンや南側の芝生広場の捉え方に違いが出ていました。

◆ひとことアンケートでも、もっと議論を深める時間がほしいとの意見や、防災機能についての議論の必要性などについても前回同様にありました。

◆第５回目のワークショップは、計画案としてのカタチを決定する最後の会となります。今後は技術的な視点から必要な修正を行い、基本設計を終えることになります。永く愛される三丁公園のために引き続き皆さんのご協力をお願いいたします。

第4回 ワークショップのスナップ写真

お問合せ

事務局：東浦町役場　建設部公園緑地課（担当：三宅）
住所：〒470-2192
東浦町大字緒川字政所 20
TEL：0562-83-3111(代表)
FAX：0562-83-9756